

正しく見極める

京町班
池田 さとみ

コロナ相談村

10月17日(日)に平和クリニック近くの西原公園で、いのちネットが主催するコロナ相談村・無料物資配布会が開催されました。西南部友の会からも8人が当日の運営に参加し、健康相談や生活相談、物資の受け渡しを行いました。近隣だけでなく御船町など遠方からの来場や子ども連れの姿も見られ、開始時刻には30人ほどが列を作り、お米やティッシュペーパー等の物資を笑顔で受け取られていました。

受付で実施したアンケート(70人が回答)では「コロナでバイトに入れない」、「保育園が休園になり仕事を休まざるを得なかった」など、コロナ禍で収入が減ったと回答した方が66%に上りました。また、病気や障害を持つ家族を支えながらの生活で経済的に苦しいとの相談もあり、給付金の拡充・新設を求める声が多く出されていたようです。

健康相談では平和クリニックやくわみず病院の医師や看護師が、治療に関するアドバイスや特定健診受診の促し等を行いました。何年も病院にかかっていないという高齢男性の方は新患受診予約にも繋がりました。

最終的には78世帯93人に物資を配布。今後も微力ながらいのちと暮らしを守る活動に貢献していきたいと思います。



西南部健康友の会
安達 止揚吾

新任のご挨拶



井上 晋

11月よりくまもと健康友の会の事務局にはいりました井上晋です。これまで診療所や県連事務局で仕事をしてきました。新人ではありませんがあらたな気持ちでわくわくしているところです。友の会(共同組織)は民医連にとってかけがえのないパートナーです。これから担当者として会員さんはじめ地域の方々と大いに学びながら楽しく活動をしていければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

退任のご挨拶



吉田 京子

4年6ヶ月を友の会で働かせていただき、本当にお世話になりました。新型ウイルスによって活動を縮小した2年間が残念でしたが、友の会の役割を改めて実感しながら地域の皆さんとも楽しく過ごしました。友の会でつながった皆さんとの出会いは、これからも大切にしていきたいです。今後も友の会員として、私に出来ることでお手伝いしていきたいと思っています。新メンバーの井上晋さんをどうぞよろしくお願ひします。

1923年の9月1日、関東大震災発生の日です。震源地だといわれる相模トラフの上、神奈川県小田原に住んでいた私の母は12歳でした。海と山に囲まれた小さな町は避難するところどころでなく、小高い丘に通っている国鉄の線路で寝起きしたということです。死者、行方不明者推定10万5千人、全壊家屋10万9千棟、全焼家屋21万2千棟という大惨事でした。母は、地震より怖かったのは「朝鮮人が井戸に毒を投げ込む」「朝鮮人が暴動を起こす」ということだったそうです。そんな噂が広まつて国は朝鮮人と見たら片っ端からとらえ、虐殺しました。沖縄弁や鹿児島弁を話す人たちも朝鮮人とみなされ殺されました。そればかりではありません。震災後の混乱に乗じて社会主義者や自由主義者も殺害されました。

そのような非常時にデマを流す人は断じて許されませんが、それを疑いもせぬ、結果無実の人の命を奪うことに手を貸してしまった多くの人たちもしっかりと反省してほしいものです。

コロナ禍の今、感染を理由に解雇したり、感染者個人の名前を特定しSNSで公表・非難したり、医療従事者の子どもの保育園通園を拒否したり、感染者を犯罪者のように扱つたりすることは、人々の差別感情に付け入った悪意に満ちた行為だと思うのです。これらも根本は同じところにあるのではないかでしょうか。

このようなことはいつの時代にも起こりうること。私たちは目を見開き眞実を見極めていかねばならないと思うのです。

2022年 今年の年男・年女の抱負



さくらんぼ保育園 園長
建川 美徳

今年の抱負は、全ての人々が健康で安心して暮らせる日々が送れることがあります。この2年間コロナの影響で国民の暮らしはズタズタにされ、生活困窮者が増え、若者や女性の自殺者が増え、とても生きづらい毎日でした。今ではワクチン接種により感染者も減少し落ち着いてきましたが、第6波がいつ起こるか見通せない状況です。

保育の現場では、コロナ感染が拡大し多くの保育園でクラスターが発生しました。しかし、保護者の就労を保障するため休園はできない中で、保育士は感染の恐怖におびえながらも働くを得ない状況に多くの保育士が心を痛めました。保育現場では三密を避けることなどできないし、どうすれば感染から子どもを守れるのか、何度も何度も話し合いを行いましたが、できることは限られています。結果的には一人の感染者も出さずに今日まで来ましたが、これからどうなるのかみんなで知恵を出し合いでこの難局を乗り越えていきたいと思います。

文章を書いたり発言したりすることが大の苦手な私。抱負を書くという事も自分にとっては大きなチャレンジ!これからも公私共に前向きに色々な事に挑戦していけたらと思います。昨年はコロナ禍で班会もなかなか開催が出来ず皆さんとお会いする機会がありませんでしたが、いつかお会いできるのを楽しみにしております。

皆さん今年も一年よろしくお願いします。



友の会運営委員
前田 夕佳

